

平成 27 年度事業報告

【1】平成 27 年度一般経過報告

はじめに

公益社団法人関西吟詩文化協会は、創立以来 82 年目を迎え、公益社団法人の認定を受け、5 年目を迎えました。関西吟詩の最も大きな問題点は、会員減少と財政問題にあります。その内財政問題につきましては、皆様のご理解ご協力により、平成 28 年度から会費の値上げ・団体会費導入により短期的には安定を保つことが出来るようになりました。会員減少問題について現状をみてみますと、会員の平均年齢は 10 年前の 65 才から 72 才に上昇し、今後 10 年先には 80 才に達し、会員数は現在の半数以下に減少するおそれがあります。この危機感を、総本部と地方及び各会が共有し、これから 10 年先そして更なる未来への礎を築く為、各会・支部・教場の活性化を目指し、「温故新生」（継承への更なるチャレンジ）のスローガンのもと、さまざまな活動をしてまいりました。

本年は、各会・支部・教場の活性化の為には、新指導者の養成・人材育成が最も重要な問題と考え、「東明未来塾」（総本部講座）をスタートしました。受講生の熱い情熱を感じるとともに、既に 10 人程の方が教場を立ち上げたとの明るい報告をうけました。この平成 27 年度の成果を受けて、平成 28 年度も引き続き人材の育成をはかり、地方での東明未来塾の開講、及び次の時代を担ってくれる青年部員の養成に努めて参ります。

結 果

- 1.会員数は、平成 28 年 3 月末現在 12,987 人となり、昨年末 13,728 人から 741 人の減少となりました。減少率は昨年に比べ約 1%増えましたが、過去 10 年間の平均よりは低下しており、各会において会員増員のご努力を賜っている結果であり、各位のご努力に深く敬意を表します。
- 2.新入会者は、本年度の目標「新入会者 1,600 人」に対し、954 人となり、昨年の新入会者数 1,010 人より 56 人減少となりました。
- 3.財政の問題につきましては、臨時総会において師範以上の先生方に会費の改訂と団体会費導入のご承認を賜り、安定を図ることができました。

- 4.人材の育成については、東明未来塾が開講され、指導者として6回約25単位を修得し57人が卒業された。内約10人の方が新教場を立ち上げられた。
- 5.不特定多数の人にまず吟詠を知って頂く為のテレビ放映を行いました。
 - ・テレビコマーシャルの放映2回（H27年12月21日・H28年1月24日）
 - ・子供の吟詠放映1回（H27年9月11日）
- 6.全国吟詠発表会は、大阪でチャリティー吟詠大会を開催し、1,200人が参加し、関西吟詩文化協会の優秀吟者・他流若手優秀吟者による吟詠に、会員始め不特定多数の方々に感動を与えた。
- 7.吟詠普及推進研修会は、8地区で実施し、延べ1,610人が参加し、各種講演・吟法・科学的な発声法など熱心に研修され、不特定多数の方々にも感動して頂いた。
- 8.吟道大学講座は、パナソニックの研修センターという素晴らしい環境の下、1泊2日で、外部専門講師等により、より専門的で深い内容の研修が行われ、受講生に感動を与えた。
- 9.本部研修会では、新吟題、漢詩3題（青葉之笛・両英雄・思坂本龍馬）和歌3題（千早ぶる・いにしへの・花の色は）を発表し、平成28年度昇格試験課題詩を各会代表者に研修を行った。
- 10.教本の改正については、教本改訂委員会の精力的な活動により、アクセント入り、五線譜入りの新人向け「新A-1」が発行され、好評をいただきました。
- 11.その他各部会・委員会が活発に活動され、「会員増員対策マニュアル」・「吟詠指導マニュアル」の作成、「広報に関する提案書」が上程されました。

以上

平成 27 年度事業報告

自：平成 27 年 4 月 1 日～至：平成 28 年 3 月 31 日

1. 公益目的事業

本会は、詩歌吟詠をより多くの人々に普及する為に、次の事業を行った。

公益目的 1 伝統芸能である詩歌吟詠の普及推進事業

詩歌・吟詠の普及推進研修会、吟詠発表会を開催し、吟詠文化の振興を発展の為の事業と其の目的達成の為の教本作成頒布並びに広報活動としての機関誌発行・ホームページなどの事業を行った。

(1) 吟詠普及推進事業吟詠大会（一般来聴公募）

地区研修大会に愛知・三重地区大会と西中国地区大会の開催を追加して、関西吟詠の優れた吟詠を披露し、吟詠のすばらしさを、広く不特定多数の方々に紹介し、吟詠の普及を図った。又地区事情に合わせて、新指導者の研修を行った。

① 吟詠普及推進吟詠研修大会（一般来聴公募）

- ・吟詠普及研修会兼推薦師範講習会・・・平成 27 年 6 月 14 日（日）
190 人参加(内一般会員他 80 人)
- ・九州地区大会・・・平成 27 年 6 月 28 日（日）
165 人参加（内一般会員他 70 人）
- ・岡山地区大会・・・平成 27 年 8 月 23 日（日）
150 人参加(内一般会員他 60 人)
- ・京滋福井地区大会・平成 28 年 2 月 7 日（日）
150 人参加（内一般会員他 60 人）
- ・四国地区大会・・・平成 28 年 2 月 28 日（日）
120 人参加（内一般会員他 50 人）
- ・愛知・三重地区大会・・・平成 28 年 2 月 21 日（日）
250 人参加（内一般会員他 100 人）
- ・和歌山地区大会・・・平成 28 年 2 月 11 日（祝）
100 人参加（内一般会員他 40 人）
- ・浜松地区大会・・・平成 28 年 3 月 6 日（日）
185 人参加（内一般会員他 80 人）
- ・西中国地区大会・・・平成 28 年 3 月 27 日（日）
490 人参加（内一般会員他 200 人）

(2) 吟詠普及推進事業チャリティー吟詠大会・公認団体の記念大会等の後援

- ・吟詠普及推進事業チャリティー吟詠大会・大阪（一般来聴公募）を実施した。
大東市広報も活用し来聴者公募に対し、150 人の市民の方が参加した。
平成 27 年 10 月 11 日（日）

於 サーターホール(大東市)
約 1,200 人参加(内一般会員他 500 人)
新指導者コーナーの設置

- ・ 下記の通り公認団体の記念大会等について後援を行った。
 - ・ 晴友吟詠会創立 20 周年記念大会
 - ・ 成秋会結成 25 周年記念大会
 - ・ 青葉支部創立 40 周年及び耀芳会 5 周年記念大会
 - ・ 華洲会創立 50 周年記念大会
 - ・ 清峰会創立 40 周年記念祝賀会
 - ・ 滋賀県連合会創立 50 周年記念大会
 - ・ 広島連合会創立 60 周年記念大会
 - ・ 奈良地区連合会結成 50 周年記念大会
 - ・ 和歌山県連合会創立 5 周年記念大会
 - ・ 第 48 回白鷺連合会青年部吟詠大会
 - ・ 第 24 回攝友会青年部吟詠大会
 - ・ 白鷺吟詠の集い競吟大会
 - ・ 攝友会詩吟まつり
 - ・ 哲友会門下生競吟大会
 - ・ 第 55 回天理連合会競吟大会
 - ・ 快川吟詠会第 21 回吟詠コンクール上記の他 30 件の大会・行事に後援を行った。
- ・ 新春吟詠普及大会の開催、
年頭に当たり、昨年度優勝者吟者並びに各地区別に吟詠を行った。

(3) 吟詠普及啓発活動を実施した。

- ① 青少年及び教育関係等に対する講師の派遣等を行った。
 - ・ 小中学での課外授業への積極的参加
 - ・ 公認会などでの青少年詩吟教室開催への講師の派遣
 - ・ 幼児、児童、生徒（義務教育）向け教本の提供
- ② 福祉施設・地域公民館活動に於ける吟詠普及活動の推進。
- ③ 学校・図書館などへの吟詠資料提供。
 - ・ 公的図書館及び学校の図書館に「教本」・「吟剣詩舞の DVD」の提供。
- ④ 他の文化団体とのコラボレーションへの積極的な参加。
特に、今年度は海外移動教室の機会を活用し、中国蘇州の「朗誦芸術団」と 2 回に亘り日中吟詠交流会を行った。
 - 第 1 回目 於蘇州老人大学訪問時に詩吟交換会開催。
 - 第 2 回目 蘇州朗誦芸術団が日本訪問時、当協会総本部で交換会開催。
- ⑤ 路上ライブなどへの積極的参加。

(4) 吟詠普及啓発活動助成事業

前(3)項の各推進活動に対して、一定限度内で助成を行った。

(5) 全国幼少年青年部吟詠大会を開催した。(一般来聴公募)

平成28年3月21日(祝) 於:大東市民会館

305人参加(内幼少年30人・青年部40人)

一般市民来聴者 50人

(6) 電磁的公報、機関誌発行を行った。

① 吟詠普及の為のテレビ放映を行った。

- ・サンテレビの番組名「歌謡花舞台」に幼少年優秀吟者として箱田慎也君と山岡優佳さんが吟詠出演を行った。

平成27年9月11日(金) 午前9時15分～9時30分の番組

- ・サンテレビで「関吟CM放送」を行った。

第一回 平成27年12月21日(月) 午後7時55分～(3分間)

第二回 平成28年1月24日(日) 午後8時55分～(3分間)

② ホームページでの吟詠普及を行った。

- ・漢詩紹介・吟詠コーナー・動画コーナーを拡充し広く吟詠を紹介した。
- ・特に若年層向けコーナーを設置し、幼少年・青年部の活動を紹介した。

③ 機関誌「吟詩日本」の発行を行った。(一般販売)

- ・漢詩和歌の紹介、作詩法、応募の自作詩の掲載

・「吟詩日本」発行 (169号、170号、171号、172号)

(7) 教本発行を行った。(一般販売)

① 教本冊子頒布

- ・教本絶句編 6冊(180題)
 - 単行本 A61～A64 4冊(12題)
- ・教本律詩編 3冊(90題)
 - 単行本 B31～B33 3冊(9題)
- ・教本古詩編 3冊(65題)
- ・教本和歌・俳句・新体詩 D1 1冊(30題)
 - 単行本 D15 1冊(3題)
- ・教本副読本(アクセント入り)
 - 4句詩編 1冊
 - 6・8句詩編 1冊
 - 長詩編 1冊
- ・教本縮刷本
 - A(絶句編)
 - B(律詩編)
 - C(古詩編)

- ②・新教本発行を行った。
- | | |
|------------|---------|
| 初級編(新Aその1) | 1冊(20題) |
| 和歌 D-16 | 1冊(3題) |
| 漢詩 A-65 | 1冊(3題) |

- ③「たのしい吟詠」の配布・活用を行った。(無料提供用教材)
 ・学校・福祉施設・地域公民館活動などでの吟詠普及活動用教本
 (ドレミファの譜面付)

(8)海外移動教室を開講した。

- ・中国(蘇州・無錫)漢詩紀行(漢詩の世界探訪)

平成27年10月15日～18日 参加者 22名

☆蘇州市で詩吟交流会として、蘇州市楓韻朗誦芸術団を訪問時、交換会実施。

☆平成28年3月26日に蘇州市楓韻朗誦芸術団15名が日本訪問時に総本部を
 来訪され役員並びに教養指導部員他と「日中詩吟交換会」を行った。

(9)災害復興支援活動の実施を行った。

- ・災害復興義援金の募集活動継続実施した。(各事業毎に呼びかける)
 ・募金は日本赤十字社を通じて被災地の支援を行った。

公益目的2 詩歌吟詠の技能向上を図り継承発展に寄与する事業

(1) 競吟大会の開催 (一般来聴歓迎)

- ① 全国新人中間層競吟大会 平成27年11月15日(日)
 於 エーリック(尼崎)
 参加者600名 出吟者 292名
- ② 全国準師範師範代指導者級吟士権大会
 平成27年12月13日(日)
 於 現代劇場(高槻)
 参加者600名 出吟者 255名
- ③ 全国競吟大会予選大会を実施した。(出吟者数1,867人)
 大阪地区大会・九州地区大会・四国地区大会・兵庫地区大会・奈良
 地区大会・浜松地区大会・滋賀地区大会・岡山地区大会

(2) 昇段試験、昇格試験および研修会を実施した。

- ・内部規定に基づき昇段試験を行い合格者に段位を授与した。
 ・内部規定に基づき師範代・準師範・師範の昇格試験を実施し合格者に指導
 者としての資格を授与し、吟詠の普及活動を行った。

- ① 昇段試験は内部規定に基づき、一次審査は各公認団体毎に実施し、
 二次審査は総本部において実施し、会長が認定した。

平成27年7月1日 昇段免許授与

平成28年1月1日 昇段免許授与

- ② 地方昇格試験および研修会を実施した。(師範・準師範・師範)

福岡試験場 6月21日

広島試験場 6月28日

名古屋試験場 6月28日

③ 昇格試験及び研修会を実施した。(総本部試験場)

師範	7月5日
準師範	7月19日
師範代	7月26日

(昇格試験に合格したものには、9月1日付で、9月13日の東明祭において免許状を授与する)

(3) 研修会の開催

吟詠指導力の向上の為、専門講師を招き科学的発声法・作詩法・関西吟詩文化協会の吟法・指導方法などの研修を行った。

① 吟詠普及推進研修会

公益目的事業 1・詩歌吟詠の普及推進事業に合わせ、以下の地区において、吟詠普及推進研修会を行った。

- ・吟詠普及研修会兼推薦師範講習会・・・平成27年6月14日(日)
190人参加(内一般会員他80人)
- ・九州地区大会・・・平成27年6月28日(日)
165人参加(内一般会員他70人)
- ・岡山地区大会・・・平成27年8月23日(日)
150人参加(内一般会員他60人)
- ・京滋福井地区大会・平成28年2月7日(日)
150人参加(内一般会員他60人)
- ・四国地区大会・・・平成28年2月28日(日)
120人参加(内一般会員他50人)
- ・愛知・三重地区大会・・・平成28年2月21日(日)
250人参加(内一般会員他100人)
- ・和歌山地区大会・・・平成28年2月11日(祝)
100人参加(内一般会員他40人)
- ・浜松地区大会・・・平成28年3月6日(日)
185人参加(内一般会員他80人)
- ・西中国地区大会・・・平成28年3月27日(日)
490人参加(内一般会員他200人)

② 指導者研修会を実施した。

- ・推薦師範講習会・・・平成27年6月14日(日)
於 エーリック(尼崎)
190人参加(内一般会員他80人)
- ・本部研修会(平成28年度師範昇格試験課題詩講習)
平成27年9月6日(日)
於 エーリック(尼崎)
220人参加(内一般会員他90人)
- ・本部研修会(平成28年度準師範師範代昇格試験課題詩講習)
平成27年11月22日(日)
於:エーリック(尼崎)
210人参加(内一般会員他80人)

・新教本講習会

平成 27 年 5 月 10 日(日) 於:エーリック(尼崎)

270 人参加 (内一般会員他 100 人)

平成 27 年 9 月 13 日(日) 於:エーリック(尼崎)

410 人参加 (内一般会員他 170 人)

③ 吟道大学講座の開講を行った。

- ・平成 28 年 1 月 30 日～31 日 於: パナリゾート大阪
- ・一泊二日の講座日程で中堅クラスを中心に、吟詠能力向上に力点を置いた講座を開催した。
- ・外部講師による講演実施。

①「芸術に学ぶ人間関係」當麻寺宗胤^{そいにん}院住職 宮下寛昇先生

②「唐詩を旅する」関西大学 教授 長谷部 剛先生

- ・教養指導部による吟詠指導講習を行った。

150 人参加 (内一般会員他 60 人)

④新指導者養成講座を開設した。

○総本部コース 第一期卒業生が誕生した。

- ・開催回数 年間 6 回
- ・受講者数 57 名

○平成 28 年度地方コース開設準備委員会を立ち上げた。

- ・開催回数 総本部及び各地区において 2 回～3 回
- ・東海地区 (名古屋地区、三重地区、浜松地区)
- 西中国地区 (広島地区・山陰地区)
- 九州地区

⑤ 作詩講座 (一般公募)

作詩の講座を開催し、広く一般の方にも作詩を広めるとともに作詩技量の向上を図る事を目的とする。

- ・毎月第 2 金曜日 午後 3 時～5 時 迄
- ・年 12 回 (前期、後期に分けて)
- ・於:総本部会議室 参加者数:延 600 名 (内一般会員 400 名)

⑥作詩添削

一般の方々にも呼びかけ、自作の漢詩を、作詩の専門家による添削などの指導を行うとともに、自作漢詩を機関誌に掲載し、作詩技量の向上をはかることを目的とする。

- ・ 4 回/年 延 参加者数 400 名 (内一般会員 240 名)

⑦ 漢詩鑑賞講座 (一般公募)

漢詩鑑賞の講座を開催し、漢詩・作者と歴史背景から広く一般の方にも漢詩を広めようとするもの。

- ・ 2 カ月に 1 回 午後 1 時～4 時 迄
- ・ 年 6 回
- ・ 於:総本部会議室 参加者数:延約 400 名内一般会員 240 名)

☆国内移動教室を平成 27 年 11 月 10 日～11 日 「岡山閑谷学校・廉塾」吟行会を行った。参加者 34 名

(4) 研究会

時代に受け入れられる吟詠を目指し、吟詠法の研究を行うとともに、新しい教本を発行する。又、各種研修会の内容の充実を図り、吟詠芸術を探求するなどの研究を行った。

・教養指導部指導科会	15回/年
・教養指導部教養科会	6回/年
・秀詠グループ吟詠研究会	3回/年
・教本改訂委員会	19回/年
・新指導者養成講座運営委員会	12回/年

(5) 部会・委員会

不特定多数の人に対して、広く、吟詠に関する調査・研究の成果および吟詠普及活動のための公報活動を行った。

・広報部	12回/年
・ホームページ委員会	9回/年

吟詠普及推進事業の企画運営を行うとともに、将来の課題に対し、対策案の提言を行った。

・企画事業部	15回/年
・青年部	15回/年

(6) 委員会

会員及び不特定多数の人への吟詠普及活動をより円滑に行う為委員会を設置した。

- ・作詩添削委員会
- ・広報活動検討委員会
- ・教本改訂委員会
- ・東明未来塾準備委員会及び東明未来塾推進委員会
(総本部・西中国地区・東海地区・九州地区)

2. 収益事業

収益1 主として会員向けに教材等を頒布する事業

吟詠普及活動の一助として参考図書・CDを頒布を行った。

(1) 参考図書販売

- ①漢詩詳解
- ②誰にでもできる漢詩の作り方 (太刀掛呂山著)
- ③作詩便覧 宮崎東明編
- ④作者便覧 日本編 関西吟詩文化協会発行
中国編 関西吟詩文化協会発行

(2) CDの頒布

- ①俳句新体詩伴奏曲編
- ②和漢名詩選(1) (既存)
- ③和漢名詩選(2)・・・ (既存)
- ④和漢名詩選(3)・・・ (既存)

- ⑤和漢名詩選(4)・・・ (既存)
- ⑥和漢名詩選(5)・・・ (新規製作)
- ⑦本部指導者研修会収録編
- ⑧国歌・関西吟詩会歌伴奏編

新規に「和漢名詩選(五)」のCD製作・発売を行った。

(3) DVD の頒布

- ①李白
- ②坂本龍馬
- ③勝海舟
- ④西郷南洲
- ⑤高杉晋作
- ⑥吉田松陰
- ⑦浮真砂
- ⑧発声のメカニズム

収益 2

吟詠の技量審査による段位認定並びに資格認定合格者に認定証(許證)を
交付する事業

(1) 昇段・昇格認定証(許證)交付事業

① 昇段免状授与

所定の昇段試験に合格した者に対し免状を授与を行った。

平成 27 年 7 月 1 日

平成 28 年 1 月 1 日

② 昇格資格者への免状の授与 (師範代・準師範・師範)

所定の昇格試験に合格した者に対し免状を授与を行った。

平成 27 年 9 月 1 日

③ 特別昇格 (上師範・高師範・総師範・宗範)

所定の昇格資格に従って特別昇格の免状を授与を行った。

平成 27 年 9 月 2 日

(2) 記章の販売を行った。

「宗帥・宗範・総師範・高師範・上師範・師範・準師範・師範代・会員」バッチの販売

3. 相互扶助事業

その他 1

宮崎東明回忌法要及び詩吟関係の功労者等顕彰事業を行った。

- (1) 東明祭の開催 平成 27 年 9 月 13 日 (日)
- (2) 会員増員表彰 (個人、支部、会) 於 東明祭 平成 27 年 9 月 13 日 (日)
- (3) 敬老祝、成人祝 於 東明祭 平成 27 年 9 月 13 日 (日)
- (4) 許證の授与 於 東明祭 平成 27 年 9 月 13 日 (日)
(師範、準師範、師範代)
- (4) 功労者等顕彰の実施 於 東明祭 平成 27 年 9 月 13 日 (日)
表 彰 吟功章 (上師範、高師範、総師範、宗範)

特別昇格
特別功労章

(上師範、高師範、総師範、宗範)
(宗 帥)

4. その他の事業 (法人会計事業)

当協会の事業目的達成を円滑に推進する事業として下記の事業を行った。

(1) 定時総会の開催

平成 27 年 6 月 6 日 (土) 於:大東市民会館(大東市)

(2) 臨時総会の開催

平成 28 年 1 月 10 日 (日) 於太閤園

(3) 各種会議

① 総会

② 役員会(正副会長会、理事会、)

③ 元老・相談役・参与会議

④ 部 会 (総務部・財務部)

⑤ 懇談会

青年部員懇談会

都府県連合会代表者会議

都府県連合会連絡協議会

役員 of 懇談会

全国各地区代表者、各公認団体代表者、代議員と

全国各地区において、意見交換会を実施した。

⑥ 教本改訂委員会

⑦ 組織活性化委員会

⑧ 指導者養成講座運営委員会

⑨ 其の他特定検討委員会

⑩ 役員 of 懇談会

全国各地区代表者、各公認団体代表者、代議員と全国

以上